

田村麻呂の伝説学ぶ

通訳ガイドの会が研修会

田村

おもてなし
福島通訳ガイドの会は二十八日、田村市で研修会を開き、坂上田村麻呂の伝説に触れた。

会員と市内在住の外国人ら合わせて約二十人が参加



田村市の歴史に触れる参加者

した。市内には坂上田村麻呂にまつわる場所が数多くある。大鐮矢神社や明石神社、堂山

王子神社などを巡った。明石神社では、境内に祭られている悪疫からの守り神「お人形

様」も見学した。

新型コロナウイルス感染拡大収束後の観光再興を見据え、参加者は研修を通して地域の魅力の再発見に努めた。

朝倉久美子代表は「地域の歴史に対する外国人の関心は高い。田村市の文化や自然は素晴らしいと思った」と話していた。

会は、県が養成した福島地域通訳案内士の有志が集まり、二〇一五（平成二十七）年に発足した。訪日外国人に通訳ガイドサービスを提供している。